

WSF スポンサー獲得のためのアドバイス①

WSF発行「パブリシティ・アンド・プロモーション・ハンドブック」より

「大会を開きたいけれど、スポンサーがなかなか見つからなくて」と悩む女性スポーツ団体は、少なくありません。そんなスポーツウーマンたちへのアドバイス。自分たちの手で創りあげる大会こそ、真に意味があると思います。

何をすれば、先立つ資金は大切。でも、どうやってスポンサーに対応し、たいわいかわからない。こんな女性スポーツサークルへ、WSFからノウハウを伝授します。

スポンサーに対してのようなお返しができるか。

一番のポイントのは、スポンサーがあなたのチームやイベントに協力すること、どのよう利益を得られるのかを、具体的に示すことである。あなたの地元やビザパーラーに協力を依頼する場を、考えてみよう。パーラーの店主は、あなた方を援助することで、次のような見返りを期待する。

- ①もし、あなたがティーンエイジャーで、その店の常連なら、今後はこちらにあなたの仲間を店に連れ回ることがある。(これは、その店のマーケティングのシェア拡大につながる)
- ②イベント会場でスポンサー名の入ったTシャツを着たり、タレ幕を下げて、協力スポンサー名をPRできる。
- ③会場の最前列の招待席を、スポンサーの取り引き先との接待用に、提供する事ができる。

健康・スポーツに関する全ての組織を十分に活用。

②担当者に交渉する
それぞれ企業や団体の担当者で電話を入れる。まず、あなた自身と団体についての説明をし、彼らの手を借りて宣伝して欲しいあなたのイベントの要点を簡単に述べる。

そして、彼らの要求する資料(イベントについて、あなたの団体についてなど)と共に、窓口であるあなたの名まえと住所、電話番号を書いた手紙をつけて送る。

イベントの概要のほか、イベントやあなたの団体にまつわる面白いような資料を添える。注目率は高くなる。このとき、「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どうした」というポイントをかいつまんで、なるべく簡潔な文章を心がけるべきである。(詳細は次号を参照のこと)また、人目を引く見出しを工夫することもある。

媒体の担当者にリリースを送った、相手がそれを受け取ったかどうかを電話で確認すること。ただし、あまりしつこくすると嫌たがられるので、あつさりとして、あなたのイベントを取材してくれた担当者がいたら、短い礼状を送っておくのがいいだろう。

あまりひんぱんに長い手紙を送りつけていると、そのうち彼らは、あなたの送ったものに見向きもしなくなる。彼らにとってニュース価値のある事に聞きたい、彼らとコンタクトするの

④ハーフタイムに観客が参加できるようなコンテストをして、その賞品として、そのビザパーラーの招待券を当選者に渡すことができる。

⑤スポンサーに対して、あなた方への協力を公けに知らせることのできるバッジや証明書を贈呈できる。

⑥イベントのプログラムやパンフレットなどの印刷物に、協力スポンサー名を明示することができる。

⑦スポーツが楽しいもので、健康を増進するものである。したがって、協力企業がよりよいイメージを創り上げるために、あなたのスポーツイベントと大いに関係があるということを広く知らせることが出来る。

多くの観客を集めるにはまず現状を徹底分析する。

スポーツ観戦が好きな人たちはとても多い。近年、スポーツは興行となり、また、大きな事業になってきている。しかし、だからといって全てのスポー

「大会に満足できる観客が集まっているか」といえば、そうではない。ガラガラのスタンドに肩を落としていると、ころも少くない。そんな悩みを持つあなたへのアドバイス。(そのベースは、現在の観客と、来てくれる可能性のある将来の観客を分析することである)

①地元の新聞社に行つて、あなたの地域の人口統計(年齢別住民数、平均年齢別手取り所得、物品購入気質、スポーツ嗜好)などのほか、最も利用率の高い交通手段、地域の中で最も徒歩による行き来の多い場所について尋ねる。全ての答えを得ることはむずかしいかも知れない。が、こうしたデータは新聞の販売や広告、編集方針を決める場合、彼らが活用している情報なので、あなたが期待するかなりの解答を手に入れることができるだろう。(編集部注)これは米国の場合で、日本の新聞社がこうした情報をくれるかどうかは、実際に交渉してみないとわからない)

②テレビ、新聞、雑誌などマス媒体についてよく知る。彼らがどのよううな人々を対象にしているかを聞く。

③あなたのイベントにかかわっている

あらゆる媒体を利用してイベントの宣伝をする。

「宣伝担当者の仕事」

①地域媒体のリスト作り
あなたの住む地域の媒体、つまり新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、そして定期的に社内報や機関紙を出している会社や団体のリストを準備する。

次に、それらの地域情報サービス部やスポーツ部に連絡して、制作、編集方針を尋ね、また、担当者名簿を作成する。

LASSALE

株式会社 服部セイコー
HATTORI SEIKO CO., LTD.